

衆院大阪3区 国政対策委員長

わたなべ結のこはら孝志、あだち雅之 Interview



辺野古に基地をつくらせない

こはら：私は大正区で生まれ育ちましたが、祖父母が沖縄県出身のため、小さいころから沖縄戦の悲惨な話を聞いて育ちました。戦争には正義など無く、被害が一番遭うのは子ども、女性、お年寄りです。沖縄戦の悲惨な体験を経て手にした平和憲法を変え、戦争できる日本にはならないと強く思っています。

また、沖縄にはいまま米軍基地が無数にあり、騒音や犯罪など無数の苦しい現実があります。沖縄の声を無視して辺野古の新基地建設を強引に進める政治は許せません。平和を求めるみなさんと力を合わせ、安倍政権の強権政治をストップしていきたいです。

日雇い派遣を経験した私だからこそ、一緒に変えたい

あだち：私は日雇い派遣を経験し、「こんな働き方をしなければいけないのは自分に能力がないから」と自分を責め、一時、鏡で自分の顔を見るのもイヤだったことがあります。

でも、民青同盟（青年グループ）や日本共産党に出会い、その仲間たちと「青年の働く実態」や「ネットカフェ難民の実態」を調査するなかで、自分のように多くの若者が苦しんでいることを知りました。そして、派遣労働が増加した根本には、財界の要求に応え、派遣労働の自由化を進めてきた政治に問題があることがわかり、「自己責任論」を乗り越えることができました。それは、私の人生にとってとても大きなことでした。だから、「ブラックな働き方」でしんどい思いをしているみなさんに、「あなたのせいじゃない」と伝え、一緒に変えていきたいと思っています。

地域経済の主役、中小業者を応援する政治を

あだち：西成民主商工会で働き、地域の中小業者の商売の相談にのる仕事をしてきました。中小業者にとって、消費税と国民健康保険料は本当に大きな負担です。

消費税8%への増税で、納税額が10万単位で増えた方がいました。また、建築業を営むある40代のご夫婦が国保料を払った時に、これから進学を控える子どもたちの学費が残るの心配をされていた姿が印象に残っています。

地域のことを良く知り、地域からも信頼を得ているのが中小業者であり、地域の主役です。災害の時にも地域との信頼関係が大きな力を発揮します。中小業者同士がつながり、地域でお金を回してこそ、経済も活性化されます。増税ストップや国保料の引き下げなど、中小業者を応援する政治を実現したいです。

「住民が主人公」の立場を貫いて

こはら：日本共産党は日々の暮らしの相談を何千件とお受けしてきました。また、町づくりの区画整理事業を住民のみなさんと一緒に進めていく立場で、大正区役所前の噴水広場、図書館コミュニティセンターの土地を確保しました。千歳橋をかけて、鶴町地域のみなさんと力を合わせて千歳渡しも存続させました。なにより過去、大阪市政が乱脈同和、役人厚遇、オール与党政治で腐敗していたころ、市民と力を合わせて清潔な市政へと改革してきたのが日本共産党です。この力を発揮して、これからは税金の無駄遣いを正し、市民の暮らしを応援する政治を進めるために力を尽くしていきます。

プロフィール

こはら孝志

1973年大正区生まれ。北恩加島保育所、泉尾北小学校、大正東中学校、府立港高校、桃山学院大学に学ぶ。

両親は共働きで、子どもの頃は、近所の同級生と一緒に泉尾商店街や団地で遊びまわり、家では兄とテレビゲームをしたり、プラモデルを作ることが大好きでした。大学では歴史研究会に入部し、戦国時代や近代の歴史を学び、政治に関して少し距離が近づいたと思います。大学では自分の将来を定めることが出来ず色々なアルバイトに明け暮れていたこともあり、その結果、大学を中退。就職せずにいるところを当時大正民主商工会の会長から「遊んでいるのはもったいない。民商に来てみいひんか、面白いで」と声をかけていただき、めでたく大正民商に就職。商売人である会員さんから商売、人生、考え方、良いことも悪いことも沢山教えていただき感謝しています。

2007年、「人に助けられ、今度は助ける番に、政治も良くて、もっと中小業者が働きやすい大阪にしていきたい」と思い日本共産党から市会議員に初めて立候補、2011年の選挙で大阪市会議員になりました。

現在、妻、子3人、義母との6人暮らし。

プロフィール

あだち雅之

1981年大阪市東成区生まれ。両親が共働きだったため、小学校6年間は学校が終わったあとに学童保育所に通いました。それがきっかけで、中学校以降も学童保育所にOBボランティアやアルバイト指導員として大学卒業まで関わりました。

近畿大学卒業時に就職難を経験し、それ以降、日雇い派遣などの非正規雇用を経験。若い世代の雇用問題などを中心に政治に深く関わることになりました。

西成民主商工会で働くようになり、地域の中小業者の商売を応援する活動に関わり、地域で中小業者の果たす大切な役割や消費税はじめ不公平な税制などの問題について認識を深めてきました。

2017年に娘が生まれ、子育て真っ最中。子どもと過ごす時間が何よりの楽しみです。

現在、「ブラックな働き方を変える」をスローガンに、「中小業者を応援したい」「子育て世代を応援したい」の思いも込めて、大正区及び西成区で活動中。

日本共産党

大正区特集

CONTENTS
 》“大正くみん応援”わくわくプラン
 》こはら孝志、あだち雅之インタビュー

**市会
定数2**

カジノより暮らしをトコトン応援

気軽に何でも相談のります

こはら孝志 たかし

大阪市会議員（2期8年）建設消防（港湾）／国民健康保険運営協議会委員

f t [こはら孝志](#) 検索

**府会
定数2**

ブラックな働き方を変える!

若者の声まっすぐ届ける

あだち雅之 まさゆき

大正・西成 府政くらし雇用相談室長

f t [あだち雅之](#) 検索

● JCPサポーター大募集

2018年に始動したJCPサポーター。今まで政治に積極的に参加する機会がなかった方々とも、一緒に考え、行動するために、日本共産党が市民のみなさんと立ち上げました。もっと政治を身近に、まずはお気軽に、登録(無料)してください。



● しんぶん赤旗電子版

お申込み月無料
日刊紙……………3497円
日曜版(宅配のみ)……930円

憲法・原発・消費税・沖縄・国際問題を真正面から報道します。企業名もタブー無し。スポーツ、将棋まで幅広い紙面。



● 市民選挙ボランティア大募集

宣伝、ビラのポスティング、SNSに拡散、電話かけ、ポスター掲示、募金etc. 事務所にお気軽にお越しください。

〒551-0003 大正区千島3-20-2
 ☎06-6685-1201(木津川南地区委員会)
 ☐kizugawa@amber.plala.or.jp

お困りのことがありましたらどんなことでもお気軽にご相談ください。
 ☎06-6553-9872(こはら孝志市会議員事務所)

大正区民報

2019年2月22日 No.246 発行/日本共産党大正区委員会
 大阪府大正区千島3-20-2 TEL 06-6554-2030
 日本共産党大正区委員会の動きを紹介します。

共同のチカラで「維新政治」を終わらせ 安心と希望のもてる大阪へ!! **日本共産党** 詳しくは中面へ